

平成 30 年度 認知症地域支援推進員 活動報告書 (大阪市平野区)

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

- 区内医療・介護・福祉事業者からなる認知症支援ネットワークや区内キャラバンメイト連絡会に参加。地域住民向け研修の企画検討、および認知症啓発のための講師、シンポジストなどを担当した。

H30 年度実績

- 認知症サポーター養成講座講師：5 回
- 地域住民向け認知症講演
町会単位：10 回 包括圏域単位：5 回 区単位：1 回

II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

- 地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、在宅医療・介護連携コーディネーターとの定期連絡会を開催し、連携体制の確認、情報共有を行っている。
- 区医師会による医療従事者向け研修において、認知症初期集中支援推進事業の活動報告を行った。
- 区内福祉・介護事業者向け認知症支援団体活動報告会において、認知症初期集中支援推進事業の活動報告を行った。

III 若年性認知症の人やその家族への支援

- 当事者の受診支援や介護支援を行っている。ケアマネージャーへ引継ぎを行った後も、必要に応じてご家族の相談に応じたり、担当ケアマネージャーの後方支援を行った。
- 医療面のみならず法的側面からの支援について、精神科医、弁護士、社会保険労務士による専門職向け研修を行った。
- 当事者の活動支援を行うために、認知症強化型包括と協働して、地域住民向けの研修会を行った。

IV 認知症の人の介護者への支援

- 初期集中支援対象者の家族を対象として、介護者の交流会を 2 度開催した。次年度以降は 3 ヶ月に 1 度程度の頻度で開催する予定である。
- 介護によるストレスを軽減するために、地域活動の場を案内した。

V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

- 当事者をふくめた地域住民が誰もが参加可能な場所として、認知症カフェを月に 1 回開催した。また、区内で認知症カフェを運営している事業所による「認知症カフェ連絡会」を 4 ヶ月に一度程度開催し、情報共有を行った。区内認知症カフェの情報をまとめたパンフレットを作成中である。
- 若年層にも広く認知症の事を知ってもらうため、地域児童向けのイベントや障害支援事業所が主催するイベント等にも出展し、認知症に関する広報活動を行った。

VI 会議や研修等の実施及び参画

＜参加している会議、事業＞

- 1) 平野区認知症予防推進事業（通称：いきいき脳活）
地域住民向けの認知症予防の取組み（脳トレ、予防体操、音楽療法等々）。
- 2) 平野区認知症等高齢者支援ネットワーク連絡会（通称：るんるんネット）
三師会、区保健福祉センター、社協、包括、介護事業所等から構成される連絡会。地域住民向け研修、専門職向け研修の企画、実施等を行う。
- 3) 平野区キャラバンメイト連絡会
- 4) 3事業連絡会
包括、生活支援コーディネーター、在宅医療・介護連携コーディネーター、区などからなる連絡会。各機関の情報共有、課題検討等を行う。
- 5) 地域ケア会議
認知症強化型包括と共に、初期集中支援の対象ケース以外にも認知症が課題である地域ケア会議に参加し、検討や意見の提言を行っている。